特別対面セミナー

広がり、変わる緩和ケア

現場の戸惑いに向き合い、実践・継承・チームづくりを考える

“これでいいのだろうか”と迷う現場へ。

変わる緩和ケアの中で、何を大切にし、どうつないでいくかを、
実践から考える対面セミナーです。

2026年9月26日（土）10:30〜15:30

コンファレンススクエアエムプラス
東京都千代田区丸の内／東京駅丸の内南口徒歩2分

緩和ケアに携わる医療従事者（全職種参加可）

こんな方におすすめです

- ✓ 緩和ケアの変化に戸惑いを感じている
- ✓ 現場での実践やチームでの支え方に迷っている
- ✓ スタッフ育成やケアの継承に難しさを感じている
- ✓ 病棟・在宅・施設・地域での役割を考えたい

午前：レクチャー　3つの実践報告

1. 人が変わっても揺れない“ホスピス緩和ケアの核”
   緩和ケア病棟のチームづくり・看取りを支える実践・地域連携
   柏谷　優子
   東京西徳洲会病院（看護部）
   日本ホスピス緩和ケア協会理事

2. 暮らしのなかの緩和ケア
   在宅・介護施設・ホスピス住宅の強み
   梅田　恵
   緩和ケアパートナーズ代表（看護師）

3. 一般病棟と地域に広げ、共に育むケアへ
   コンサルテーションによる基本的緩和ケア支援の試み
   神谷　浩平
   MY wells地域ケア工房代表（医師）

午後：グループワーク　4つの事例検討

**現場ごとの迷いを持ち寄り、
明日からの実践を考えます**

1. 専従医師不在の緩和ケア病棟のケア
2. 新入スタッフへのケアの継承
3. ホスピス型住宅における緩和ケアの実践
4. 一般病棟への介入と支援

参加費 無料　｜　要事前申込　｜　定員150名

主催：特定非営利活動法人　日本ホスピス緩和ケア協会
共催：公益財団法人　日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

プログラム・開催概要

変わる現場で、緩和ケアをどう支え、どう広げるか。
講義と事例検討を通して、実践のヒントを持ち帰る1日です。

プログラム

10:00〜　受付

10:30〜12:15　【レクチャー】
変わる現場で、緩和ケアを
どう支え、どう広げるか

- 柏谷　優子　氏
- 梅田　　恵　氏
- 神谷　浩平　氏

休憩：約1時間
お弁当の提供はありません。
各自で昼食をお取りください。

13:15〜15:30　【グループワーク・事例検討】
4つの事例を通して、現場ごとの
迷いと実践の工夫を考える

事例テーマ

1. **専従医師不在の緩和ケア病棟のケア**
   症状緩和が困難な事例に対応するチーム力の育成
2. **新入スタッフへのケアの継承**
   緩和ケア病棟に配属されたばかりの看護師が、
   患者と家族のケアに困難を感じる時
3. **ホスピス型住宅における緩和ケアの実践**
   暮らしの場で、緩和ケアニーズに気づき、
   支える体制をどうつくるか
4. **一般病棟への介入と支援**
   衰弱する患者と不安が強い家族への多職種アプローチ

開催趣旨

非がん疾患への対応、在宅緩和ケアやホスピス型住宅の広がり、病棟機能の変化などにより、緩和ケアの現場は大きく広がり、多様化しています。

その中で、実践のあり方、チームでの支え方、次の世代の育成や継承に悩みを感じている方も少なくありません。

本セミナーでは、多様な現場での実践報告と事例検討を通して、現場の悩みを共有しながら、これからの緩和ケアの実践やチームづくり、人材の育成と継承についてともに考えます。

参加案内

対象：緩和ケアに携わる医療従事者（全職種参加可）
特に、今後の緩和ケアのあり方や実践、
スタッフ育成に迷いや難しさを感じている方

参加者数：150名
1施設からのお申し込み人数の制限はございませんが、
お申し込み多数の際は、お断りする場合もございます。

申込期間：
2026年5月15日(金)〜
2026年9月1日(火)17:00

参加費：無料

参加申し込み

右のQRコードからお申し込みください。
参加が確定した方には、締め切り後にメールで
詳細をご連絡いたします。
（定員になり次第、受付を締め切ります）

申込 QRコード

【主催】特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
【共催】公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

問合せ先：〒259-0151　神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
Mail：info@hpcj.org　　Tel：0465-80-1381